

うわー  
すげー

### 廃材使ったアート物の大切さを実感

11月12日、芸術家の熊谷行子さんの指導の下、久慈湊小学校の2年生39人が廃材を使ったアートの作成に挑戦しました。完成後、アートは「みんなの木」と命名。児童らは校舎の入り口に飾られたきれいな作品を眺め、物の大切さを実感していました。



2009. 12 月1日号  
No. 90

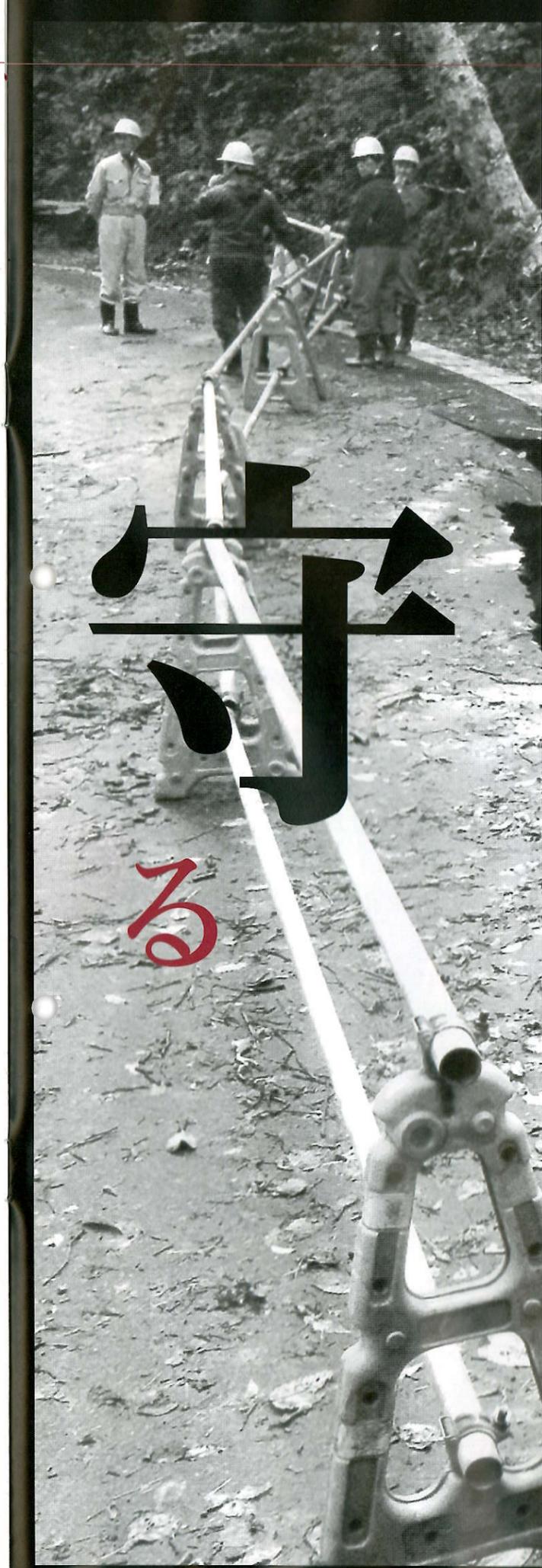
留ら	2～5
秋を制す	6～9

稲環榮推進モデル事業がスタート	11
秋の叙勲	12

# 白

ら

予期せぬ災害 その時あなたは命を守ることができますか―



# 守る

5億7千万円―。これは10月8日の台風18号で受けた市全体の被害額です。(11月16日現在)地震、台風、水害に津波など、恐ろしい災害はいつ、わたしたちに襲い掛かってくるかわかりません。消防署や消防団だけでは防ぎきれない災害の脅威。わたしたちは何をすれば、自分や家族、そして自分たちが住む地域を災害から守ることができるのでしょうか。今回は防災のあり方について考えます。(5ページまで)

写真/台風18号により崩壊した県道待浜夏井線

# 意識

「地域の助け合い」の重要性

## 猛威を振るった18号

10月8日、本市を襲った台風18号。強風、豪雨、高波により市は約5億7千万円もの被害を受けました。(表1)

深夜3時34分、最初に発表されたのは暴風・波浪警報でした。9時59分には大雨、洪水警報が追加。時間の経過とともに風雨は強く波までもが高くなり、15時29分には高潮警報まで追加されました。

その後台風18号は猛威を振るいつつ、18時には最大時間雨量45mmを観測。久慈川や夏井川は、はん濫注意水位にまで達し、消防署や消防団は水防活動に追われました。風も雨量に比例して強くなり、17時59分には瞬間最大風速28m。海も7mを超える高波で荒れ狂いました。

表1/台風18号の主な被害

市全体	約5億7,000万円
水産関係被害	約3億円
・漁船の転覆	1隻
・漁具の破損	10件
土木施設被害	約1億8千万円
・河川の護岸洗掘など	5カ所
・道路の冠水、崩壊	70カ所
農業施設被害	約4千万円
・水路の決壊など	15カ所
・道路の崩壊	1カ所

※11月16日現在の取りまとめ

19時9分、事態を重くみた市は災害対策本部を設置。被害状況の把握と復旧のために奔走しました。

## 恐怖と不安抱えての避難

夏井川を流れる鳥谷川の水位は道路まで数10cmに迫るほどに増水し、はん濫寸前。19時35分、ついに川沿いの鼻館・田中地区54世帯に避難勧告が出されました。冷たい雨が降り続く中、55人が平山小学校などに避難し、約2時間、恐怖と不安を抱えて過ごしました。

「あそこまで川が増水したのは初めて。勧告が出てすぐに何も持たずに避難した」と恐怖を語る高屋敷夕力さん。大きな爪あとを残した台風18号。人的被害がなかったことが唯一の救いでした。

## 地域を守る自主防災

皆さんは「自主防災組織」という言葉を聞いたことがありますか。これは地域を守るために協力して初期消火や集団避難、救出・救護などの防

災活動を行う団体のことです。市内には「川崎町自主防災会」「久慈湊地区自主防災会連合会」そして「幸町自主防災会」の3団体があります。

「何かあっても消防が助けてくれる」「町には消防団もあるから必要ない」とそう考える人もいます。

しかし大災害の場合、道路や橋が壊れたり、水道や電気が止まることもあり、消防署の活動には限界があります。また被害も大きくなるため、すべての人を救助することは不可能に近いのが現実です。

## 9割が自力と助け合い

5万人を超える死傷者を出した平成7年の阪神・淡路大震災。生き埋めなどになった

表2/阪神・淡路大震災で生き埋めなどになった人の救助割合

区分	割合
自力で	34.9%
家族に	31.9%
友人・隣人に	28.1%
通行人に	2.6%
救助隊に	1.7%
その他	0.9%

※ 財団法人日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」による

人のうち9割以上が救助隊ではなく自力で脱出したり、家族や友人らに助けられました。というデータがあります。(表2)消防などから救助を受けることが難しくなる大災害。命のために隣近所で助け合わなければならないことをデータは物語っています。皆さんが住むその地域。被害を抑えられるかどうかはそこに住む皆さんの力に懸かっているのです。

## Interview



消防にも限界  
地域の力が  
重要に

久慈消防署  
かっお  
繁名勝男 署長

消防署69人、消防団800人。これが久慈市の消防力です。一部地域の被災は総動員で対応できますが、被害が全域に及んだ場合、この人員では対応できません。

重要なのは地域で助け合う力です。生活環境が変わった現在、近所でも知らない人がいると思います。自主防災組織を立ち上げて地域のつながりを作り、被害を軽減することが必要です。



寒く、不安、暗い夜。避難した平山小体育館で寄り添って座る地域の皆さん

### 今すぐ 減災の心得 持ちたい



認識の差が被害を大きく  
普段から備えを

久慈消防署 第二消防  
つよし 久慈 剛史 救急係長

災害の被害を減らすために事前に取り組むことを「減災」といいます。久慈市は地震や洪水、さらには津波の恐れまであります。まずは災害の怖さを知り、意識することが必要です。現実起こる災害の怖さと、自分の認識に差があればあるほど被害は大きくなってしまいます。煙や熱を避けるため「火事の場合はかがんで避難する」など、基本的なことを確認しておきましょう。

災害に対する心得と普段からの備え。災害が起きたとき、自分や家族の身を自分たちで守れるよう、まずは家族で話し合ってみませんか。

#### 家具はしっかり固定

大地震が起きた場合、大きく重い家具などは凶器に変わります。特に寝室、居間などは要注意です。金具で壁などに固定して転倒を防ぎましょう。

#### 自宅の避難路を確保

自宅の廊下などを物でふさがずに避難路を確保しておきましょう。また避難する場所を家族で決めておくことも大切です。

#### いつも近くに3品を

- ①携帯ラジオ…非常時の情報収集に役立ちます
- ②懐中電灯…夜道を避難するのに役立ちます
- ③スリッパ・靴…地震のときなどはガラスなども散乱し、裸足で避難するのは危険です

# 前進

家族や地域を守るため

**まずは相談 助成制度も**  
地域の力が基になる自主防災組織の結成には、地域に住む人の理解が不可欠です。久慈消防署では自主防災組織の説明や相談の受け付けはもちろん、防災に関する出張講演なども行っています。「防災について知りたい」「地域で防災を考えてみたい」と少しでも思ったら、まずは気軽に久慈消防署(TEL53-0119)にご相談ください。

**市の資機材購入補助金**  
▼対象Ⅱ自主防災組織(1組織あたり1回のみ)  
▼補助額Ⅱ10万円以内  
▼補助率Ⅱ経費の100%  
■宝くじ助成の自主防災組織育成助成事業  
▼対象Ⅱ自主防災組織  
▼助成額Ⅱ申請する自主防災組織が新設された団体か、既存の団体かどうかなどの条件によって助成額は異なります

**守るためには自ら動く**  
災害による被害を抑えるための自主防災組織。難しく大変そうな印象を受ける人もいるかもしれませんが、



宝くじで幸町が整備

宝くじ「自主防災組織育成助成事業」を活用して幸町自主防災組織は、リヤカーに担架、チェーンソーなどの防災資機材と保管用の倉庫を整備しました。

「これで防災活動がよりスムーズになる」と幸町自主防災会の皆さんも喜んでます。



幸町公民館の横に整備した倉庫

過去の30年ほどの周期で繰り返して発生している宮城県沖地震。この地震は30年のうちに99%の確立で発生するといわれています。前回1978年(昭和53年)の発生からすでに今年で31年が経過しました。毎年

# 実行

立ち上がった3団体

11月8日、幸町自主防災会(八重樫護会長)は旧長内中学校校庭などを会場に、会の結成後初となる総合訓練を実施し、地域の結束と防災力の向上を図りました。

同会が結成に向けて取り組み始めたのは平成17年からでした。「日常生活の中で、人と人とのつながりが心配される面があった。町内には高齢者も多い。隣近所のつながりを密にして助けなければと思った」と、きっかけを語る八重樫会長。幸町も自主防災会を結成する前は、多くの地域と変わらない状況でした。

結成から2年半、意識の高まりと結びつきの強さが表れた今回の総合訓練。八重樫会長は「会の結成により、これまで話をしたことのない人や、消防団と町民との交流も生まれた。地域の一体感をつくるのが自主防災会。今後も活動を続け、災害の少ないまちづくりに努めたい」と意欲を燃やしていました。

**久慈浜地区自主防災会連合会**  
副会長 村上雅夫さん(浜町)

**津波の避難 助け合って**  
この地区にとって一番怖いのが津波。少子高齢化も進み、速やかに避難するためには隣近所の助け合いが必要と考え結成しました。避難所や避難道など課題もありますが、地域で力を合わせて安全を守っていきたくです。



幸町自主防災会 八重樫 護 会長

誘導、そして炊き出しと、災害時に必要となる5項目の訓練を行いました。参加者は子どもから高齢者まで約200人と多数。人任せにせず率先して行動し、災害から地域を守る方法をみんなで確認しました。久慈消防署の繁名勝男署長は「連携の取れた見事な訓練。これまでの取り組みが十分に生かされている」と防災意識の高さを評価していました。

**意識高く結びつき強く**  
結成後、災害から地域を守るために必要なことを改めて整理し、その後に援護を必要とする人の把握や、緊急時に備えた連絡網とマップの作成、隣近所での声掛けなどを進めました。訓練も最初は初期消火や心肺蘇生法などから。「続けることが大切」と無理はせず、少しずつ活動を広げていきました。

**水害懸念 年2回訓練も**  
川に挟まれ、水害が多い川崎町。結成して地域の連帯感が高まり、年2回の訓練によって徐々に防災意識も浸透してきました。今年は防災ザックを全世帯に配る予定。少しずつでも地域の防災を高めていきたいと思っています。

**川崎町自主防災会**  
会長 村田東助さん(川崎町)

夏の勢いそのままに  
新戦力が大活躍

# 秋を制す



快進撃の源はこの団結力。歴史的な勝利を飾った大会会場で、全国での活躍を誓う久慈高柔道部（11月22日・岩手県営武道館）

久慈高校男子柔道部  
第54回県高校新人柔道大会  
第32回全国高校柔道選手権大会県大会

## 部員一丸で 悲願を達成

新人柔道大会試合結果 Result	
▶3回戦	○4-1 専大北上高
▶4回戦	○代表1-1 一関学院高
▶準決勝	○2-1 宮古高
▶決勝	○2-1 盛岡大学附属高
※試合方式は1チーム5人の総当たり戦	
選手権大会試合結果 Result	
▶1回戦	○2人残り 盛岡市立高
▶2回戦	○2人残り 花巻東高
▶準決勝	○1人残り 宮古高
▶決勝	○代表戦 盛岡中央高
※試合方式は1チーム5人の勝ち抜き戦	

ついに破った強豪私立の厚い壁。10月23日、24日に一関市で開かれた第54回県高校新人柔道大会の男子団体戦で久慈高校が初優勝。創部から約70年、届きそうまで届かなかった優勝旗を初めて手にしました。

同部に所属する1、2年生は男子12人、女子6人の計18人で、部員が久慈管内の小学校、中学校、中学校か

るのは主将の大向真幸くん（2年）。悲願の県大会制覇を目指し、部員一丸となって厳しい稽古に励んできました。今大会の団体戦メンバー7人は、夏に個人100kg超級で全国大会に出場した田村拓樹くん（2年）のほかは軽量級の選手が中心。中量級・重量級の選手を中心に起用する私立校に比べると一回り小柄なチームです。

それでも強い、負けない久慈高。4回戦で林崎修平くん（1年）が負傷するというアクシデントに見舞われましたが、体格差をもともしない粘り強い柔道で接戦を制し、決勝へと駒を進めました。決勝の相手は何度も苦杯を飲まされてきた盛岡大学附属高。選手の気合いも一段とみなぎりました。

互いに1勝ずつ取って迎えた副将戦。桑田朋也くん（2年）は「自分がポイントを取らなければ」と必死に攻めて終盤で貴重な優勢勝ち。大将戦を引き分け、2対1で見事初優勝を飾りました。

同部を率いて12年目の佐藤隆一先生は「感無量。優勝は多くの人に関わってもらったおかげ。選手は試合中も冷静で指示にもしっかりと応えてくれた。久慈の選手だけで優勝できたことを誇りに思う」と選手をたたえていました。

11月21日、22日に盛岡市で開かれた第32回全国高校柔道選手権大会県大会でも同部が初の頂点に。会場中が歓喜にわきました。選手の勢いと力強さは増すばかり。翌年3月、最強メンバーは満を持して全国大会に挑みます。



### OBからも歓喜の声 message



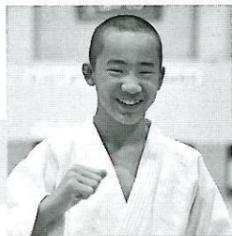
**みんなで期待**  
自身準優勝。OB・父母会として応援  
すずが ひろし 煤賀 弘さん (野田村)  
自分たちの代は準優勝止まり。初優勝を達成してくれた選手たちを心からほめたいです。でもこれからが本当の勝負。ライバル校からも研究され厳しくなるとは思いますが、普段から強い気持ちを持ち続けて稽古に励んでほしいと思います。OBも父母会もみんなで期待しています。



**大きくなった**  
OBで選手を小・中学生時代に指導  
せいあき 小向清樹さん (待浜町)  
大向、桑田、田中、林崎を侍浜柔道教室で指導。教え子であり、母校の後輩でもある選手が悲願を達成してくれてうれしく思います。これも先生やコーチからよく教わり努力した結果。皆、大きくなったなと感じます。後輩たちの手本になるよう今後も頑張っしてほしいですね。

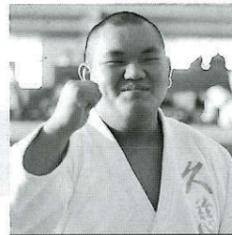
**Interview**

<p><b>最強メンバー！</b> 試合巧者の 林崎 修平くん (1年・73kg級)</p> <p>▶怪我を治し早く復帰を。力をつけ来年の団体優勝に貢献したいです。</p>	<p>攻めの姿勢を貫く 晴山 万里くん (1年・81kg級)</p> <p>▶活躍できず喜びと悔しさが半分。チームの力になれるよう一から頑張ります！</p>	<p>粘り強さが信条 佐々木 徹くん (2年・73kg級)</p> <p>▶もっと粘り強く相手に食らいつきチームの勝利に貢献したいです！</p>	<p>長身の寝業師 田中 佑都くん (2年・66kg級)</p> <p>▶最低でも引き分け。チームの勝利のため自分の役割を果たします！</p>	<p>勝負強さが光る 桑田 朋也くん (2年・81kg級)</p> <p>▶気持ちの勝利。全国でも強い気持ちを持って1戦1戦頑張ります！</p>	<p>チームの大黒柱 田村 拓樹くん (2年・100kg超級)</p> <p>▶一本で勝つ柔道を徹底して、全国でもチーム一丸で勝利を目指します！</p>	<p>個人戦も制した主将 大向 真幸くん (2年・73kg級)</p> <p>▶最高にうれしい！技術を磨き、強い気持ちで全国に挑みます！</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------



第30回県中学校  
新人柔道大会  
個人男子60kg級  
久慈中学校柔道部  
三浦 拓海くん  
(2年)

▶ライバル相手に初勝利。力をつけて来年は圧勝したいです！



第54回県高校  
新人柔道大会  
個人男子100kg超級  
久慈高校男子柔道部  
田村 拓樹くん  
(2年)

▶選手権は準優勝。気持ちを切り替え来年は団体と個人で全国に！



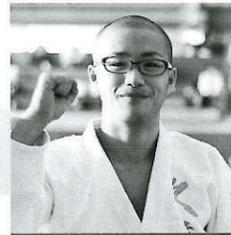
楽天イーグルス  
ジュニアチーム  
メンバーに選抜  
NPB12球団ジュニア  
トーナメントENEOS CUP  
2009(12/25~27)に出場  
久慈漢オリオンズ  
鹿糠 裕太くん  
(久慈高小・6年)

▶東北で18人のメンバーの1人に選ばれて本当にうれしいです！周りも皆、すごい選手ばかりで勉強になります。でも負けてはいられません。バッティングには自信があります。試合では練習してきた成果を見せたいです！



第20回知事杯争奪  
少年柔道大会  
中学校男子団体戦  
三船十段記念館  
柔道スポーツ少年団  
(伊藤慎副主将・大川中2年)

▶副主将/優勝して大喜び。このメンバーで全国に行きたいです！



第32回全国高校柔道  
選手権大会県大会  
個人男子73kg級  
久慈高校男子柔道部  
大向 真幸くん  
(2年)

▶3月には全国大会。まずは1勝を目指して一戦一戦頑張ります！



第20回知事杯争奪  
少年柔道大会  
小学校男子団体戦  
三船十段記念館  
柔道スポーツ少年団  
(吉田勇人主将・久慈小6年)

▶主将/優勝できると信じていました。後輩にも頑張ってもらいたい！



第30回県中学校  
新人柔道大会  
個人女子63kg級  
長内中学校柔道部  
藤原 静枝さん  
(2年)

▶油断せず来年は全試合一本勝ちで優勝できるように頑張ります！



平成21年度  
県高校総合文化祭  
器楽部門  
久慈高校  
マンドリン部  
(高木秀太郎部長・2年)

▶部長/これで来年は全国。代表にふさわしい演奏を目指します！



第11回県空手道  
選手権大会  
小学1・2年個人組手  
市空手スポーツ少年団  
三上 美純ちゃん  
(夏井小2年)

▶練習の成果を発揮できました。これからも空手を頑張ります！



第30回県中学校  
新人柔道大会  
個人女子52kg級  
侍浜中学校柔道部  
大向 奈々さん  
(2年)

▶オール一本勝ちで優勝。来年は団体でも優勝したいです！



第18回県高校文化連盟  
囲碁大会(新人戦)  
個人戦  
久慈東高校囲碁将棋部  
樋口 洋一郎くん  
(2年)

▶追われる立場。気を引き締めて来年も県大会を勝ち抜きます！

勢いに乗る  
秋を制した  
岩手の覇者



第30回県中学校  
新人柔道大会  
女子団体戦  
長内中学校  
柔道部(女子)  
(橋場瑠璃子さん・2年)

▶橋場さん/周りのみんなに感謝。全員柔道で来年は男女で全国に！



第32回全国高校柔道  
選手権大会県大会  
個人女子63kg級  
久慈高校女子柔道部  
煤賀 里恵さん  
(2年)

▶一本を取れるように得意技を磨き、3月の全国大会に挑みます！



この表情は王者の証。来年に向けた気合いを込め、拳を突き上げる選手たち

# 久慈中学校 野球部 第23回県軟式新人野球大会 全員野球で 激戦を制す

10月17日、18日、八幡平市で開かれた第23回岩手県軟式新人野球大会で久慈中学校が見事8年ぶり2度目の優勝を飾りました。  
1、2年生の新チームとなった同部は部員数31人。9月の地区大会前から「絶対に県大会で優勝」を合言葉に練習を積み重ねてきました。チームの団結力は大会でも変わらず。選手はもちろんベンチや応援席も一丸となって相手に挑みました。初戦をコールドで勝ち、勢いに乗るとチャンスを実にものにする勝負強さを発揮。0対0のまま

10月17日、18日、八幡平市で開かれた第23回岩手県軟式新人野球大会で久慈中学校が見事8年ぶり2度目の優勝を飾りました。  
1、2年生の新チームとなった同部は部員数31人。9月の地区大会前から「絶対に県大会で優勝」を合言葉に練習を積み重ねてきました。チームの団結力は大会でも変わらず。選手はもちろんベンチや応援席も一丸となって相手に挑みました。初戦をコールドで勝ち、勢いに乗るとチャンスを実にものにする勝負強さを発揮。0対0のまま

「苦しい試合。みんなで声を掛け気持ちを高めた」と主将の鹿糠俊輝くん(2年)。粘り強く攻撃をつなぎ、今大会絶好調の八重樫大地くん(2年)に打順を回しました。八重樫くんは期待に応え、右中間を破る三塁打で勝ち越し。粘る相手の攻撃も全員でしのぎ、念願の優勝旗を手にしました。  
顧問の野里帝夫先生は「生徒の揺るがない強い気持ちが結果に表れた」と激戦を制した生徒をたたえていました。次は追われる立場に。久慈中は気を引き締め直し、来年も全員野球で臨みます。

試合結果 Result

▶1回戦	○9-0	5回コールド
西南中	(花巻地区)	
▶2回戦	○2-0	
大槌中	(釜石・大槌地区)	
▶準決勝	○1-0	
水沢中	(胆江地区)	
▶決勝	○3-1	延長8回
花泉中	(一関地区)	



### 意欲燃やす選手に応援を

生き生きとした表情に力強い視線。夏の勢いそのままに、選手たちは秋の県大会に臨みました。「勝ちたい」という強い気持ちを持ち続け、積み重ねてきた日々の練習。選手たちは見事にその成果を大会本番で発揮してみせました。

選手の活躍の裏側には、いつも家族や仲間、先輩に指導者など多くの人の支えがあります。周りの協力がなかったら、今回の活躍もなかったかもしれません。

「みんなの力で優勝できた」結果を出して、周りのみんなに恩返しできた。選手らは皆、周囲への感謝の気持ちを語ります。

今年も寒い冬がやってきました。それでも選手たちの気持ちが冷めることはありません。自分を支えてくれる多くの人に感謝しながら、それぞれの目標に向かって走り続けます。

秋を制し、さらに意欲を燃やす選手たち。来年の活躍も期待して、まち全体で選手たちを応援していきましょう。

優勝はしましたが他チームの捕手はもっとすごい。冬にしっかりと鍛えレベルアップを。来年は全国制覇を目指します！

リードと声で先導 守備の要  
捕手 濱欠 寿輝哉くん(2年)

優勝はみんなの力。冬は走りこみをして球速アップと変化球に磨きを。来年も勝ち上がり、全国大会で勝利したいです！

常に平常心 頼りのエース  
投手 八重樫 大地くん(2年)

優勝で先生や親に恩返しできました。次は追われる立場。冬に体力をつけ来年の地区、県、東北に向かって頑張ります！

チームを引っ張りまとめる主将  
遊撃手 鹿糠 俊輝くん(2年)

## Interview 来年への 抱負



# 挑

## いなわら稲環楽推進 モデル事業がスタート

### 稲・畜農家が連携 互いの発展に前進

稲作農家と畜産農家が連携して互いの発展を目指す稲環楽推進モデル事業が本年度スタートしました。

これは稲作農家が牛の肥育に必要な稲わらを、畜産農家が稲の生育に欠かせない堆肥を、それぞれ安価で提供し合うという事業です。処分することが多いものを互いに生かすことで、経費の削減や品質の向上につながります。

「地元の稲わらがほしい」。事業の始まりは(有)田村牧場を経営する田村英寛さんのこの一言でした。それを受けた市

農政課の担当者が間に入り、稲作農家と調整。昨年度、ほ場などが整備された大川目町の稲作農家を中心に、7人が参加を決めました。

稲作農家は10月から11月にかけて、刈り取った稲わらを島状に立てるなどして乾燥。田村さんは乾燥後の稲わらをロールペーラーでまとめて回収し、田んぼに堆肥を散布しました。

作業はおおむね順調に進みましたが、本当の成果が問われ



地元のものをのこせたい  
を見せる田村英寛さん

るのは来年です。堆肥が散布された水田の稲の生育状況はどうか。稲わらの乾燥具合は、日数がたっても牛が食べられるくらいに十分か。初めてを試みて気掛かりな点もありますが、両農家は歩みを進めます。

農業生産法人の(株)フラップの社長を務める田中正七さんは「化学肥料に掛かる費用も大きい。これまで処分していた稲わら売り、堆肥が手に入れば経費も抑えられる」と期待します。田村さんも「稲



「来年の収穫が楽しみ」と話す田中正七さん

わらなど地元でとれたものを食べさせることで、安心、安全の面で牛肉の価値を高めることもできるのでは」と可能性の広がりを語っていました。

農業を取り巻く現在の状況について問うと「とにかく苦しい」と2人は声をそろえます。苦しいからこそ工夫し、手を携えて取り組むことは大切なことです。

「この事業によって、農家同士の輪がもっと広がっていくべき。2人の思いは同じです。稲作と畜産、互いの発展に向けた挑戦が今、始まりました。」



## 実践総合農学会 第4回地方大会を開催

実践総合農学会(事務局・東京農業大学総合研究所)の第4回地方大会は11月14日、15日の2日間、おらほーるで開催されました。

今回の開催は、東京農業大学が昨年から進めている「山形町の農業を通じた山村活性化」の研究・調査が縁になった約180人が、研究成果や成功事例の発表などに耳を傾け、山村の活性化策を探りました。

初日は基調講演とシンポジウムが行われました。5人が

自身の活動内容などを紹介したシンポジウムでは、山根六郷研究会の桑畑博会長もステージに。山根六郷に息づく山村文化に着目した活動を紹介し、山根六郷の魅力を力説しました。

最終日は、地元が主役となつての討論会。農林業の生産加工や教育旅行に取り組み10人が山村の明日を熱く語り合いました。

都市部との交流について、ホウレンソウを生産しながら体験も受け入れている岩脇ヨシエさんは「農業体験をした

message

宝は人  
一緒に  
地域発展を

実践総合農学会事務局  
長 門間 敏幸 東京農業大学教授

山形町をはじめ、この地域には厳しい自然の中で培った生活の知恵や技術があります。心温かい人もたくさんいます。これは地域の資源であり宝です。

今後も山形町とのかかわりを持ち続け、一緒に地域の活性化と発展を目指していければと思います。

子どもたちの笑顔を見ると、食と農の文化を伝えられていることを実感する」とやりがい。民泊研究会の出町丈夫会長は「地域を整備し、教育旅行以外の一般客も呼び込みたい」と交流人口の拡大に意欲を燃やしていました。

一方、農業生産については、地域の購買力が低下していることや、取り引き価格の下落など厳しい現状を感じさせる声もあがりました。

「変える点を変え、時代に合った商品」と消費拡大について語ったのは総合農舎山形村の木藤古修一社長。本年度、県木炭品評会の2部門で最優秀賞を獲得した谷地司さんも「技術を磨きながら、消費者ニーズにも対応したい」と、こだわりと柔軟性の両面の大切さを語っていました。

つぎることのない熱い思い。10人の言葉には、苦しい状況でも明日を目指して前に進もうという力強さがあふれていました。

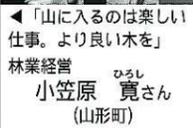
## 舞台は山形町 山村の明日を語る

### 地元が主役の討論会 熱く語った10人の実践者

▶「人と人の触れ合いが楽しい。今後も広めたい」  
民泊・ホウレンソウ生産  
岩脇ヨシエさん  
(山形町)



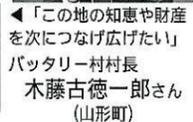
▶「山に入るの楽しい仕事。より良い木を」  
林業経営  
小笠原 寛さん  
(山形町)



▶「飼料にもこだわって。純国産の短角牛を」  
純国産の短角牛生産  
上村 信志さん  
(山形町)



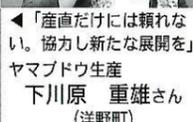
▶「この地の知恵や財産を次につなげたい」  
バター・村長  
木藤古徳一郎さん  
(山形町)



▶「変えるものは今すぐに。時代に合った対応を」  
総合農舎山形村所長  
木藤古 修一さん  
(山形町)



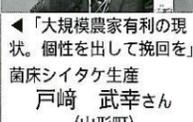
▶「産直だけでは頼れない。協力し新たな展開を」  
ヤマブドウ生産  
下川原 重雄さん  
(洋野町)



▶「日本一きれいな集落を。人を呼び込みたい」  
民泊研究会会長  
出町 丈夫さん  
(山形町)



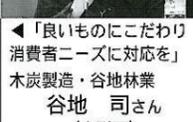
▶「大規模農家有利の現状。個性を出して挽回を」  
菌床シイタケ生産  
戸崎 武幸さん  
(山形町)



▶「関係機関と研究し連携障害緩和の成果も」  
ホウレンソウ生産  
長坂 亜紀子さん  
(山形町)



▶「良いものにこだわり消費者ニーズに対応を」  
木炭製造・谷地林業  
谷地 司さん  
(山形町)



# 必見!

市民おらほーる劇場

## れんごく 煉獄の さくら SAKURA

おらほーる (☎72-3711)

公演情報

▶第1回公演  
12月13日(日)14時～  
会場 おらほーる

▶第2回公演  
翌年1月17日(日)17時～  
会場 アンバーホール

▶入場料

	前売	当日
一般	800円	1,000円
高校生以下	400円	500円

皆さんお待ちかねの第3回市民おらほーる劇場が本年度も上演されます。

脚本・演出を手掛けるのは県演劇協会副会長の、こむろこうじさんで、演目は「煉獄のSAKURA」。昭和20年4月に旧久慈町で起きた久慈大火をもとに、人と人とのつながりの大切さを訴える演劇を披露します。

「劇場のファンも初めて観る人も良い意味で裏切りたい」と意気込むこむろさん。現在、キャスト・スタッフ30人が毎週、練習を重ねています。

期待大の新作劇場。皆さんお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

- 主な見どころ!
- ①久慈の歴史をもとにした久慈オリジナルの演劇です!
  - ②演劇を通して当時の久慈のを感じることが出来ます!
  - ③おなじみの役者も活躍。子どもたちの成長振りも必見です!



劇場初参加の新人4人組

### 「3R」でゴミ減量化

みんな目指そう! ゴミ減量 生活環境課 (☎54-8003)

「ごみはタダではありません!」

■処理に4億円のお金  
平成20年度、市がごみの処理に負担したお金は約4億6千万円。(1人当たり約1万2千円) 捨てるごみでも処分するにはお金がかかります。苦しい財政状況の中、貴重なお金を節約するため、ごみを減らす必要があります。

■今すぐできる「3R」  
「3R」とは、ごみを減量する3つの方法の頭文字。今すぐできるエコな活動です。  
平成20年度、1人が1日当たり排出したごみの量は1kg以上。

▼リデュース(排出抑制) 買い物はマイバッグで、使い捨て商品の利用も見直しましょう  
▼リユース(再使用) 物を大切に、別の使い方を考えたり、可能な限り長く使うようにしましょう  
▼リサイクル(再資源化) 分別を徹底。リサイクル可能な商品やリサイクル商品を積極的に利用しましょう

まだまだ減らすことができません。一人一人の環境にやさしい取り組みが、ごみの減量につながります。皆さんのご協力をお願いします。

### 除雪作業にご協力を

生活をもスムーズにするための大切な作業です。ご協力をお願いします

- ◆国道45号…三陸国道事務所久慈維持出張所 (☎53-2790)
- ◆国道281号・395号・県道…振興局土木部 (☎53-4990)
- ◆市道…土木課 (☎52-2124)
- ◆山形総合支所産業建設課 (☎72-2129)

①路上駐車やめてください	路上駐車があると除雪車が前に進めなくなったり、雪をかぶった車に追突して事故を起こす恐れがあります。
②道路への雪出しはやめて	歩行者や車の通行の妨げになりますのでやめましょう。
③枝の伐採はお早めに	雪の重みで枝が垂れ下がると除雪や通行の妨げになります。妨げの恐れのある立ち木などは伐採しましょう。
④玄関前などはご家庭で	除雪車が通った後、玄関前に雪が残ることがあります。これは限られた時間で、なるべく広い範囲を除雪するために起こることです。ご理解をお願いします。玄関前に残った雪はご家庭で、私道や歩道、消火栓の周りには地域などで除雪作業をお願いします。
⑤凍結抑制剤などの散布を	坂道などには凍結抑制剤入りの砂碓などを設置しています。散布にご協力をお願いします。協力いただける方には個別に提供します。行政連絡区長を通じてお問い合わせください。
⑥公共交通を利用ください	雪道の渋滞を緩和するためできるだけ公共交通機関を利用しましょう。
⑦路面状況に合った運転を	交差点や橋、トンネルなど凍りやすい地点には凍結抑制剤を散布していますが、路面状況にあったスピードと安全運転を心掛けましょう。

### 人命救助

#### 命救った二子漁業生産部に感謝状

11月16日、人命救助に貢献した二子漁業生産部の中平武雄部長ら5人に久慈警察署長と久慈広域連合消防長から感謝状が贈られました。5人は11月1日、海に転落した男性2人を直ちに救出。適切な救護と通報により2人は命を取り留めました。「今後も地域ぐるみで安全を」と中平部長。言葉からは意識の高さがうかがわれました。

(左から) 新井谷秀志さん、新井場政勝さん、中平武雄さん、大石哲雄さん、新井谷幸夫さん

#### 1日救急隊員4人に感謝状

10月17、18日の救急フェアで活動した久慈高校の3年生4人に10月27日、消防長から感謝状が贈られました。

(左から) 久慈圭吾くん、金子淳くん、岩城裕輔くん、晴山光くん

### 瑞宝単光章

消防 (元市消防団分団長)  
柏木 弘さん (小久慈町・77歳)

思いがけない受章。周囲のみんなも喜んでくれ、本当にうれしく思います。地域のために何かしなければと思い、活動してきました。久慈大火の際、必死に消火活動をしたことが印象に残っています。長年活動を続けられたのも家族や地域の協力のおかげ。改めて感謝します。災害はいつ起こるか分かりません。団員の確保など大変な面もあると思いますが、今後も消防団活動を頑張りたいと思います。

Profile  
1960年久慈市消防団に入団。副分団長を経て1988年から1996年までの8年間、分団長を務めた。さまざまな防災活動の指揮を執るなど、長年にわたる防災への貢献が認められて受章。

### 瑞宝双光章

教育 (元公立小学校長)  
佐々木 六郎さん (門前・79歳)

大変うれしい受章。お世話になった方々にも祝ってもらえて喜びもひとしおです。子どもたちの視点に立って物事を伝えることの大切さを心しながら教員、学校長としての責任を全うしました。何度も懇談の場を持ち、地域の方々と一体になって教育活動を進めたことも良い思い出です。遠慮も必要ですが、主張することも大切です。大事なことをしっかり主張できる人が今後も育つよう、教育を頑張りたいと思います。

Profile  
洋野町出身。1950年に教諭となる。平山小、侍浜小、大川目小、久慈小の校長を歴任し、1990年に退職した。教育の充実や若手教員の育成に力を注いだことが認められて受章。

### 瑞宝双光章

地方自治 (元市収入役)  
碁石 明男さん (門前・70歳)

受章は上司、先輩方の指導のおかげ。本当に感謝の気持ちでいっぱい。行政職員は全体の奉仕者だということを常に心して仕事に取り組んできました。印象深いのは採用2年目に配属となった財政課。未経験者2人で夜を徹して予算を組みました。そのとき乗り越えた苦しさもその後の支え、励みにもなりました。久慈市には山、川、さらに海があります。海を活用した市の発展を望みます。

Profile  
1961年旧久慈市役所に入所。総務部長、産業部長、議会事務局を経て1999年から2005年までの6年間、市収入役を務めた。健全な行政運営に力を尽くしたことが認められて受章。

Congratulations

# 秋の叙勲

平成21年度秋の叙勲が11月3日付けで発表され、市内から3人の方が受章しました。叙勲は業務に取り組み続けて功績を上げた方や、公共的なことに力を尽くした方などに与えられるものです。受章された皆さん、おめでとございます。

# 表彰

熱心な社会貢献活動などが高く評価され、小学校や団体、個人が県や消防長から表彰されました。受賞された皆さん、おめでとございます。

### 熱心に温暖化を防止 小袖小・久喜小が県知事表彰

11月16日、17日、「使わない電気は消す」「水を出しっぱなしにしない」など学校や家庭で地球温暖化防止に熱心に取り組んだ小袖小学校(工藤茂校長・児童41人)と久喜小学校(澤田晶子校長・児童61人)が県知事から表彰されました。

久喜小/代表で賞状を受け取った伊川毅くん(6年)

小袖小/賞状掲げる児童会長の大久保康くん(6年)

### 高砂スポーツ少年団が県教育表彰

地域一体となった活動で社会体育の振興などに貢献したことが評価。11月4日、県教育表彰を受賞しました。

表彰状を手に笑顔を見せる高砂スポーツ少年団の皆さん

## 旬の大物狙って集中

サーモンフィッシングIN久慈市

第2回サーモンフィッシングIN久慈市(二子自治会主催)は10月24日~11月1日の土日4日間、舟渡海水浴場で開かれました。市内外から旬を迎えたサケを狙って60人が参加。参加者は海に向かって勢いよく竿を振り、大物を釣り上げようと集中力を高めていました。



皆、サケを狙って集中!



釣ったメスのサケを手にする藤原さん(左)

見事メス1匹を釣り上げた藤原恵次さん(滝沢村)は「今年釣った初のサケ。帰ったら早速イクラ作りをしたい」と初の釣果を喜んでいました。



生産者の渡辺敏和さん(野田村・右)の話に聞き入った岩手とり肉の日給食・平山小(10/29)



「へ~こんな風になっているの?」 間近のサケに釘付けになった鮭の日給食・夏井小(11/11)



「短角牛ってすごい!」 下館部会長(右)の話に夢中になる児童。右下/この日の給食。山形町の小・中学校には短角牛の牛丼が提供されました

## 地元の恵み食べて学ぶ

短角牛などが給食に

11月24日、地産地消ふれあい給食の日(短角牛の日)が初めて市内全地区の小・中学校で行われました。小久慈小学校の5年1組には山内隆文市長や新岩手農協短角牛肥育部会の下館進部会長ら5人が訪問。児童と一緒に短角牛のビーフシチューを食べながら、地元で採れたものを地元で食べることの大切さを伝えました。児童らは興味津々な表情で話に聞き入り、笑顔で給食をほおぼっていました。

ぺろりと給食を平らげた添田 龍くん(同5年)は「今まで食べたお肉の中で一番おいしい!話も聞いて短角牛がもっと好きになった」と目を輝かせていました。

10月29日には岩手とり肉の日給食、11月10日、11日には鮭の日給食も実施。児童らは給食を通して地元の恵みの大切さを学びました。

## まちの話題をおすそ分け 広報リポーターの突撃取材!

### 大にぎわいの夏井町民文化祭



夏井中生徒は見事な合唱を披露

夏井町民文化祭は11月14日と15日の2日間、夏井公民館で開かれました。芸能発表や作品展示、食堂など内容盛りだくさんで会場は朝から大にぎわい。地元産米の米粉で作った夏井うどんも来場者から好評を得ていました。(生平隆リポーター)

### 再会誓ったふるさと会



ふるさと久慈への思いをかき立てた備前組の音頭

11月14日、東京都で在京久慈ふるさと会が開かれ約100人が交流を深めました。アトラクションで秋まつり備前組の音頭が披露されると会場は大盛り上がり。最後は別れを惜しんで全員で歌をうたい再会を誓いました。(小倉利之リポーター)

## 笑顔満面元気に100歳

下平タケさん長寿祝い



山内市長(右)の「風邪などひいてないですか」との問い掛けに「なんもなんも」と笑顔で答える下平さん

10月26日、下平タケさん(山根町)が100歳を迎え、27日に自宅で長寿祝いが贈られました。山内隆文市長が「おめでとうございます」と祝い状を手渡すと下平さんは満面の笑み。元気で迎えた100歳を家族と一緒に喜びました。下平さんは「若いころは炭焼きや畑仕事など一生懸命働いた。今はべっぴんの湯で友達と話をするのが一番の楽しみ」とニコリ。長男の健一さんは「元気に動ける分、けがの心配もしたが、無事に100歳を迎えられて良かった。まだまだ長生きしてほしい」と元気な母の姿を優しく見守っていました。

笑顔が印象的な下平さん。食べ物の好き嫌いもなく、今も家の周りを散歩したりするそうです。

## 港に触れて深まる理解

もぐらんぴあみなと発見隊

もぐらんぴあみなと発見隊(もぐらんぴあなど主催)は11月3日に開かれ、市内外から参加した約30人が見学などを通して港に理解を深めました。

参加者ははじめに作業船で久慈港をぐるりとクルージング。建設中の湾口防波堤にも上陸し、その重要性を実感しました。パーベキューで海の幸を味わった後も内容盛りだくさん。北日本造船久慈工場や、もぐらんぴあのバックヤードを見学し、港にあふれる魅力を満喫していました。

太田輝くん(久慈湊小5年)は「クルージングが楽しかった。造船工場は初見学。作業は火花が出ていて迫力があった」と興奮気味に話していました。



広い工場内に興味津々な表情で見学する参加者

## 地震の怖さを再確認

宇部中で耐震出前講座



「筋かい」の大切さなど耐震の仕組みを模型で学ぶ生徒ら。左下/体験したのは恐怖の震度7。大きな揺れに生徒らは大慌て

木造住宅の耐震対策を学ぶ出前講座(県など主催)は11月6日、宇部中学校(菅野次郎校長・生徒32人)で開かれました。生徒らははじめに県の防災指導車で大地震の揺れ体験。その後、座学がスタートしました。地震の怖さを体感した直後とあって皆、真剣な表情。映像や模型で地震が起きる仕組みや、被害を防ぐための方法を熱心に学びました。

講師を務めた岩手県建築士会の柏館 旨緒 支部長は「地震に強い住宅は命、財産、生活を守る。まずは耐震診断を」と強く訴え。中野秀哉くん(3年)は「今日学んだことを生かし、普段から危機感を持って災害に備えたい」と気を引き締めていました。



「クラッシュ」とは  
寝技や関節技、締め技がない立ち技（投げ技）だけの柔道に似た格闘技。手で足をつかむ技は反則だが、組手は道着のどこをつかんでも自由で、柔道とは違う技を使う選手も多い。50力国以上に普及し、ウズベキスタン共和国の国技にもなっている。

実感したのは新たな魅力  
好きだから挑み続けたい



クラッシュ・アジア大会に出場した  
小笠原直哉さん  
（右／川貫・34歳）  
石崎雅人さん  
（左／侍浜町・20歳）

10月30日から11月8日にかけてベトナムで開かれた第3回アジアインドアゲームズのクラッシュ競技に小笠原直哉さんと石崎雅人さんが日本代表として出場。男子90kg級に出場した石崎さんは見事、銅メダルを獲得しました。ともに久慈高校柔道部の出身で、現在は同部の外部コーチとして後輩を指導している2人。先輩後輩としても畳の上で汗を流してきた2人は、互いの得意技から性格までよく知る中です。先にクラッシュを始めたのは小笠原さん。「仲間に誘われて。周りの後押しもあって

挑戦を決めた」。小学生から柔道を通じて、他の格闘技にも取り組んでいる小笠原さんですが、クラッシュにはこれまでにない魅力があるといいます。「大会に柔道の世界王者や代表選手が出場することもある。その選手との対戦や柔道とは違う技に出会えることが楽しくてたまらない」。小笠原さんに誘われて昨年からは始めた石崎さんも「強い柔道選手との対戦や技の発見が魅力」と声をそろえます。日中はそれぞれの職場で仕事に励む2人。毎回、忙しい合間をぬっての練習ですが、2人はそれを苦にしません。「柔道もクラッシュも自分が好きなこと。忙しさを理由に辞めようと思ったことはない」。2人の思いはここでも同じです。現在、市内でクラッシュに取り組んでいるのはまだ2人。今後については小笠原さんは「現役かどうかは関係なく続けていきたい。自分が感じたクラッシュの魅力を広めることもできれば」と抱負を語ります。「次こそは金メダルをと」と力強く語るのは石崎さん。早くも次の大会に向けて闘志をみなぎらせます。好きだから広めたい、好きだから挑み続けたい。2人の挑戦はこれからも終わることありません。

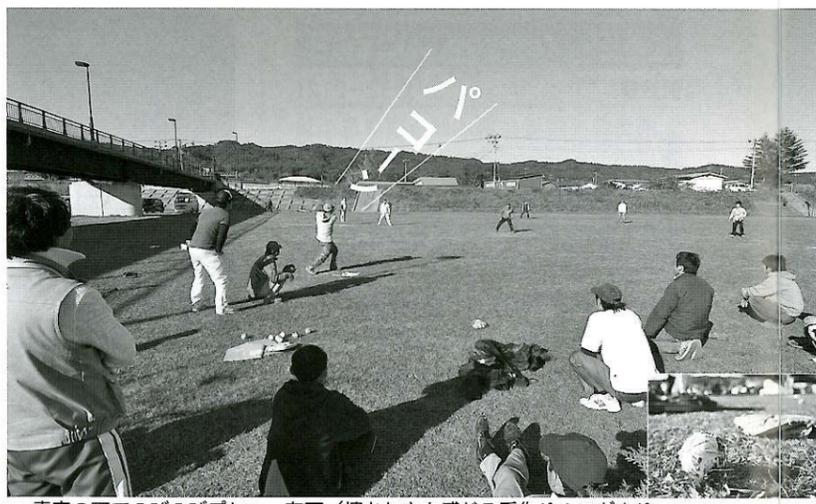
交流 つぎまり野球選手権テスト大会

# 遊びで広げた仲間の輪

全日本つぎまり野球選手権テスト大会（久慈青年会議所主催）は10月25日、久慈川河川公園で開催。職業も出身も異なる6チーム、60人が「楽しい」「おもしろい」という遊びの原点に立ち返り、仲間の

輪を広げました。同大会は、昔懐かしい遊び道具「つぎまり」を使用した三角ベース野球大会。出場選手6人、試合時間30分のほかは、野球とほぼ同じルールを採用しました。

青空の下、行われた試合は、エラーあり、ホームランありと珍プレー好プレーの連続。選手らは皆、キラキラと目を輝かせてプレーを楽しんでいました。応援に駆けつけた観客も、子どものような選手の



青空の下でのびのびプレー。右下／懐かしさを感じる手作りのつぎまり



日本一？に大盛り上がり 皆、目を輝かせてプレー 珍プレーに大爆笑

姿に笑顔で拍手。仮の日本一の座は市内選手で構成する葛巻ジャパンチームが勝ち取りました。

野田商工会青年部チームの大沢幸正さんは「多くの人と交流できて本当に楽しかった。次は年代の違う人とも一緒にプレーしてみたい」と笑顔。同大会を企画した高橋渉さんは「職業などの垣根を越えて交流できる場をつくりたかった。皆楽しんでくれて満足。今回の反省を生かし、今後の広がりを検討したい」と、輪の広がりと大会の盛り上がり

## 新名物!? 「夏井うどん」誕生!



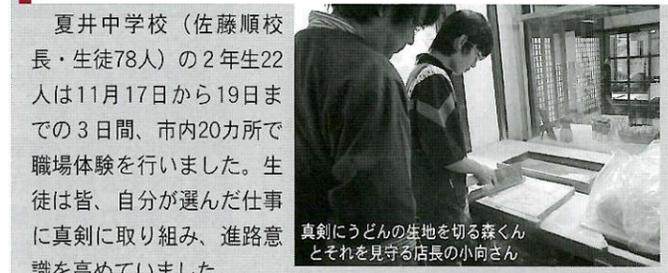
笑顔と一緒に召し上がれ。夏井うどんを販売した食生活改善推進員の皆さん

夏井町産の米を生かそうと、米粉のみを使用して作った「夏井うどん」（仮称）が11月15日、夏井町民文化祭でお披露目されました。夏井うどんは、夏井公民館の地域づくり事業の一環として夏井町振興協議会と夏井地区食生活改善推進員の皆さんが研究を開始。3カ月ほど試作を繰り返して、この日40食限定で来場者に販売しました。評判も上々ですぐに完売した夏井うどん。料理教室を各地域で開き、まずは家庭に広める予定です。



米粉ならではのモチモチとした食感がおいしく楽しい夏井うどん

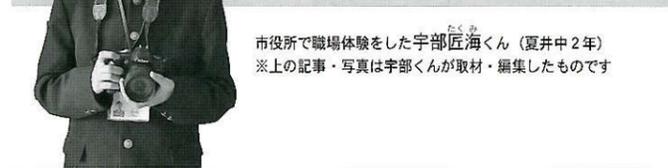
## 仕事に真剣！高まる意識



真剣にうどんの生地を切る森くん  
とそれを見守る店長の小向さん

夏井中学校（佐藤順校長・生徒78人）の2年生2人は11月17日から19日までの3日間、市内20カ所で職場体験を行いました。生徒は皆、自分が選んだ仕事に真剣に取り組み、進路意識を高めていました。鬼は内で、そばやうどん作りを体験した森友哉くんは「生地作りは難しかったけど頑張った。この経験を生かして手打ちそばを自分で作れるようになりたい」と意欲をみせていました。店長の小向さんは「手作りとお客さんとのかわりの大切さを学んでもらえれば、良い経験になったらうれしい」とエールを送っていました。

初めての取材や記事を書くのはとても大変だったけど、完成した記事を見たときはうれしかったです。3日間だけだったけど、とても楽しい体験でした！



市役所で職場体験をした宇部匠海くん（夏井中2年）  
※上の記事・写真は宇部くんが取材・編集したものです

## 子育て支援センターだより

Tel 52-3210

- 12月後半～翌年1月前半の予定■
- ◎12/16(水) 絵本の読み聞かせ 10:30～11:00
  - ◎12/22(火) 季節の遊び「クリスマス会」10:00～12:00
  - ◎1/6(水) 赤ちゃんサロン 13:30～15:30
  - ◎1/13(水) 季節の遊び「みずき団子作り」ひよこ教室 10:00～12:00
  - ◎1/14(木) うさこちゃんの部屋 11:00～12:00

■利用案内■  
◇対象…就学前の児童とその保護者◇利用時間…毎週月～金曜日、8時30分～17時（土曜日は8時30分～13時30分）◇お休み…土曜日の午後、日曜日、祝祭日、年末年始◇利用料…無料

子育て支援センターは赤ちゃんとお母さんのコミュニケーションの場です。育児相談も受け付けています。どうぞ気軽にお越しください。

## 図書館だより

今月のオススメ図書

【市立図書館】「母と子のおやすみまえの小さなお話365」  
千葉 幹夫 編著 ナツメ社  
お母さんが子どもに本を読んであげる時間は一生の宝物です。おやすみ前に読み聞かせる小さなお話を365話収録。ゆったりとした気持ちでお話の世界を楽しめます。

【山形図書館】「小さなお重のおせちと、お正月のつまみ。」  
田中 優子 著 アスキー・メディアワークス  
基本のおせち以外に和・洋・中のつまみなど手軽に作れるレシピも紹介。料理手順も写真付きなので初めてのおせちづくりにもおすすすめです。年末年始のおもてなしにいかがですか？

- 休館日…月曜日、祝日（祝日が月曜日に重なる場合は翌日）、年末年始12/29(火)～翌年1/3(月)
- 【市立図書館 ☎53-4605】
- 開館…9時～18時（土日は17時まで）
  - クリスマスの本展…12/2(水)～25(金)
  - 図書館映画会…「くまのおいしゃさん」などを上映 12/12(土)10:00～②15:00～
  - チビッコの部屋…絵本や紙芝居の読み聞かせを行います ①12/12(土)14:00～②12/26(土)14:00～
  - 冬休みおすすめ本展…冬休みの課題に最適な本を展示・貸し出します 12/26(土)～翌年1/24(日)
- 【山形図書館 ☎72-3711】
- 開館…10時～18時
  - クリスマス図書展…12/1(火)～25(金)

読書は家族のコミュニケーションの一つです。家族で本を読み、感想を話し合みましょう

# 暮らしの 情報

このページでは、暮らしに役立つ情報をお知らせします。

- ★本庁舎 ☎52-2111
- ★山形総合支所 ☎72-2111
- ★宇部支所 ☎56-2111
- ★侍浜支所 ☎58-2111
- ★山根支所 ☎57-2111

※市役所の各課の番号は直通電話です。また、上記の代表電話からもつながります

## 募集

### 親子で挑戦！手打ちそば

農政課 ☎52-2121

- ▶日時=翌年1月8日(金)10時~13時  
※市役所西口から送迎バスあり。希望者は9時15分までに集合
- ▶会場=山形老人福祉センター
- ▶対象=親子20組(子どものみも可)
- ▶参加費=1人300円
- ▶持ち物=エプロン、三角巾、タオル
- ▶申し込み=12月18日(金)まで

### ご参加ください新年交賀会

生活環境課 ☎54-8003

- ▶日時=翌年1月4日(月)11時~
- ▶会場=ロイヤルパークカワサキ
- ▶会費=1人3,000円
- ▶申し込み=12月15日(火)まで

### 多重債務の無料相談

東北財務局盛岡財務事務所 ☎019-625-3353

- ▶日時=12月16日(水)10時~17時
- ▶会場=東北財務局盛岡財務事務所
- ▶申し込み=12月9日(水)まで

### 道の駅回って特産品ゲット

岩手河川国道事務所 ☎019-624-3196

抽選で特産品が当たる県内道の駅のスタンプラリーを開催。期間は12月1日(火)~翌年4月11日(日)までです。

賞	条件	当選人数
いわって大賞	3駅以上	6人
つめちゃったで賞	20駅以上	10人
アイドリンク賞	10駅以上	30人
馬かったで賞	5駅以上	60人

### 楽しもうプラネタリウム

県北青少年の家 ☎0195-23-9511

- ▶日時・会場=12月20日(日)①10時~②13時~・県北青少年の家(二戸市)
- ▶参加料=無料(同時開催のミニプラネタリウム作りは50円)
- ▶定員=各回40人(小学3年生以下は保護者同伴)
- ▶申し込み=前日まで

### 市営住宅空きあります

建築住宅課 ☎52-2120

山形総合支所産業建設課 ☎72-2129

住宅名	戸数	家賃(月額)
川井団地	2戸	2,900円~4,900円
宇部和野平地区住宅	1戸	2,000円~3,000円

※家賃は収入に応じて算定します  
▶申し込み=12月15日(火)まで

### 里親登録しませんか？

岩手県福祉総合相談センター ☎019-629-9608

親の病気、離婚などの事情により家庭で暮らすことができない子どもたちがいます。里親とは、そんな子どもたちを自分の家庭に迎え入れ、養育する方のことです。里親になるには研修が必要で、子どもの養育費は国などから支給されます。里親登録は通年で募集。詳しくはお問い合わせください。

## お知らせ

### 下水道測量調査にご協力を

下水道課 ☎52-2152

下水道の測量調査設計のため現地調査を行います。調査では住宅の位置や高さの測量のため宅地に立ち入ることもあります。皆様のご協力をお願いします。※調査は委託で実施。調査員は身分証明書を携帯しています

- ▶調査期間・地域=12月4日(金)~翌年3月20日(土)・天神堂、旭町

### 全血献血を行います

保健推進課 ☎61-3315

12月16日(水)	鶴岡マイチ	9:00~10:00
	市役所	11:00~13:30
	日本地下石油備蓄株式会社	15:00~16:30
12月17日(木)	鶴岡産産業久慈営業所	9:00~10:00
	元気の泉	11:00~12:00
	久慈病院	13:30~16:00

### エイズを無料で即日検査

久慈保健所 ☎53-4987

- ▶日時=12月13日(日)13時~16時
- ▶会場=中央公民館
- ▶対象=感染の心配があってから3カ月以上経過している方
- ▶内容=結果は採血後30分で。予約不要。プライバシーも厳守します

### 渡り鳥への餌付け防止にご理解を

県自然保護課 ☎019-629-5371

渡り鳥などに餌を与えたり飛来地にごみを放置していると、鳥などが持つウイルスが広がったり生態系が乱れる恐れがあります。保護のための給餌など特別な場合を除き、餌付けをしないようご理解、ご協力をお願いします。

## 久慈駅駐輪場の放置自転車 12月中旬までに引き取りを！

久慈駅の駐輪場で警告札が張られている自転車の持ち主は至急引き取りをお願いします。12月中旬までに引き取られない場合は放置自転車と判断して処分します。ご理解、ご協力をお願いします。◎生活環境課 ☎54-8003

### ご参加を！環境にやさしい農業の日

農政課 ☎52-2121

消費者の皆様へ環境保全型農業や地産地消の推進などについて認識を深めていただくため、次のとおり「環境にやさしい農業の日」を開催します。参加無料。ぜひご参加ください。

- ▶日時=12月12日(土)10時~14時
- ▶会場=やませ土風館(多目的ホール)
- ▶内容=研修会(環境保全型農業の必要性と食品表示など)、エコファーマー風呂敷市(農産物販売)、ポスター展示など

### 出稼ぎ者の健康診断

商工観光課 ☎52-2123

昨年受診した方には12月中旬ごろ問診票をお送りします。それ以外の方で受診を希望する方はご連絡ください。

- ▶日時・会場=翌年1月3日(日)~5日(火)7時~11時・元気の泉
- ▶受診料=◇多項目検診…2,200円◇肝炎ウイルス検診(対象者)…800円◇大腸がん検診(希望者)…400円◇胃がん検診(希望者)…1,200円

山形診療所(☎72-2033)でも出稼ぎ者健康診断を実施中。希望者はこちらへご連絡を。

### 閲覧できます国土調査の成果

林業水産課 ☎52-2122

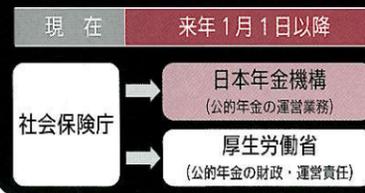
昨年度、国土調査を実施した①川崎町第1~4地割②長内町第3・4・32地割③表町第1地割④中央二・三丁目⑤駅前第1地割⑥新町第1地割について成果の閲覧を行います。閲覧の際は印鑑を持参ください。

- ▶期間=12月2日(火)~22日(火)の平日と土曜日
- ▶時間=9時~17時(土曜は12時まで)
- ▶会場=保健センター

### 日本年金機構が来年スタート

社会保険庁は来年1月1日、サービス向上の実現を目指し、組織・人員を一新して「日本年金機構」として生まれ変わります。

現在ある二戸社会保険事務所は「二戸年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談などの窓口として引き続き利用できますのでご安心ください。



### 家屋敷課税の申告受け付け

税務課 ☎52-2114

次のAまたはBのどちらかすべてに該当する方は家屋敷課税の対象です。住民税(市県民税)の均等割額(5,000円)が課税されます。12月20日(月)までに申告ください。

A	本年1月1日現在、久慈市に住民登録がない
	本年度の市県民税が久慈市で課税されていない
	市内に自分や家族が住むことを目的としたアパートや住宅などがある(※補則)
B	本年1月1日現在、久慈市に住民登録がある
	本年度の市県民税は他市町村から課税されている
	市内に自分や家族が住むことを目的としたアパートや住宅などがある(※補則)

※台所やトイレなどが共同の下宿や寮は該当しません

### NTT電話帳を配達・回収

タウンページセンタ ☎0120-506-309

12月中旬に新しい電話帳を各家庭や事業所にお届けします。リサイクル推進のため現在お使いの電話帳は配達員にお渡しください。不在時などで古い電話帳を渡せなかった場合や配達冊数の変更がある場合はご連絡ください。

## 1枚のべっぴんカードから夢が生まれる

# べっぴん感謝祭

売出期間 平成21年12月1日(火)~平成22年1月12日(火) 43日間

特等	現金	50,000円……	10本
1等	べっぴん商品券	10,000円……	30本
2等	べっぴん商品券	5,000円……	50本
3等	べっぴん商品券	3,000円……	400本

抽選日:平成22年1月22日(金) 午前11時より 公開抽選  
抽選場所:日専連久慈会館 2階  
当選発表:平成22年1月29日(金) 午後10時  
「しんこうニュース」掲載  
ポイントカード会事務所店頭

「ご応募頂いたお客様の個人情報(住所・氏名・電話番号)は、協同組合久慈ポイントカード会が厳重に管理し、イベントの抽選及び当選者の発表のみに使用致します。」

**協同組合 久慈ポイントカード会**  
〒028-0065 久慈市十八日町二丁目14番地  
TEL 53-2000 FAX 53-3364(日専連久慈内)

### 小さい工事から大きな工事まで

スロープ・手すり取付工事 新築・改修工事

## 真心こめて

一般住宅建築

お気軽に 新築  
ご相談 リフォーム  
下さい。 設計・施工

「琥珀の家サイト」オープンしました。アクセスしてください。  
URL: http://www.todate-komuten.com E-mail: info@todate-komuten.com  
住宅のことなら見積致します オール電化の 琥珀の家

## 外館工務店

久慈市興町1丁目34 ☎53-5069

## 年賀状印刷

10枚から承ります  
多少に拘らず  
ご用命を!!

**Hp(有)ヘイハン印刷**

久慈市大川目町1-114-37  
TEL 55-3811 FAX 55-3822

真心をこめた料理をお届け致します。

《各種仕出し料理承ります》  
祝膳・仏膳・折詰・弁当・オードブル・寿司  
(御予算に合わせてご用意させていただきます。)  
お気軽にお電話ください。

## おおみ屋

久慈市長内町34-26-1  
TEL 0194-52-1155



1/「三陸鉄道大好き」などメッセージを車両に書き込む来場者。制服を着て運転士を体験するなど、多くの人が三鉄の魅力に触れました  
 2/ 普段は見られない列車司令室の特別見学に皆、興味津々  
 3/ 久慈駅前ではミニSLの運行も  
 4/ やませ土風館で開かれた全国鉄道むすめサミット。久慈ありす(右)が全国からファンを呼び込みました  
 5/ サミット終了後に開かれた久慈ありすのパーテイー。達増拓也知事が勢いよく乾杯の発声



# 25年にわたり にわう三鉄 にエール

開業25周年記念秋のさんてつ祭り

**昭和**59年4月1日の開業以来、地域の足を支えてきた三陸鉄道。11月1日、開業25周年を記念した秋のさんてつ祭りが三陸鉄道久慈駅などを会場に開かれ、500人の三鉄ファンでにぎわいました。

祭りは催し盛りだくさん。久慈駅では三鉄クイズ大会やグッズ販売が行われました。司令室の見学などが行われた車両基地では、多くの親子らが車両に三陸鉄道を応援するメッセージを書き込んでいました。

中でも全国鉄道むすめサミットが開かれたやませ土風館は大盛り上がり。三鉄の運転士をモデルにしたキャラクター久慈ありすのファンが全国から殺到し、三鉄に力強いエールを送っていました。これからも頑張れみんなの三陸鉄道！



三松希陽くん (9カ月)  
三松佳樹さん、久慈さんの次男 (門前)

中田龍聖くん (1歳)  
中田隆明さん、葉子さんの長男 (天神堂)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎52-2116)に応募ください。写真は返しません。

## Interview



大人も子どもに戻って♪  
大上志穂さん(右)と友人の皆さん(長内町)

車両基地の見学は初めて。子どもはもちろん、大人も子どもに戻って楽しめました♪いい機会ですね！



これからも地域の足で！  
生平健一さん(右)と家族の皆さん(天神堂)

電車好きな子どもは大喜び！三鉄は大切な地域の足。これからも30年、40年と続いていってほしいですね。



ドンjon楽しい企画を！  
児玉剛幸さん(左)と乙部佑介さん(宮城県仙台市)

久慈ありすと三鉄の魅力にひかれて久慈に。三鉄さん頑張っていますね！今後も楽しい企画を期待しています！



今週のエネルギーに！  
橋上和司さん(三陸鉄道久慈駅駅長)

祭りの開催は大正解！今回三鉄ファン、久慈ファンが増えたことを実感。今後のエネルギーになりました！

## 編集後記

▶いや～すごいすごい！久慈高男子柔道部がついにやってくれました！県新人戦に続き県選手権でも優勝！わたしの母校を破っての初優勝でしたが本当にうれしかったです！▶久慈高の選手に驚いたのは拍子抜けするほど冷静なこと。普段はまったく勝負師の雰囲気がないんです。それが本番では大活躍するんだからすごいですね。3月の全国大会も平常心で臨んでほしいです▶紙面では紹介しきれませんでした。惜しくも優勝を逃した選手もたくさんいました。今回の悔しさをぶつけ、来年こそ優勝を飾ってくれることを期待しています▶今回の広報にも「頑張れ！」の気持ちをたくさん込めました。これからも頑張る人たちをみんなで応援していきたいですね。(八重桜)